



福岡県東峰村

議会ウォッチ

11月号

2020

ココに注目!

事業は適切に行われたか?《トピックス》 P2

ここが聞きたい!《一般質問》 P4

採決一覧 P12

決算委員会まとめ

総務課関連

- 議員** 大行司駅舎の今後の活用はどうなっているか。
- 総務課長** JRの駅舎としての活用が一番大きい。事務所の部分は、住民からのアンケートを取り活用を検討する。

住民税務課

- 議員** 基金繰入金内のふるさと基金は、どう使われたのか。
- 住民税務課長** 中山間直接支払交付金事業に355万1千円、こども医療に74万2千円産業振興に69万3千円、一般会計に1390万4千円、繰り入れた。

教育課

- 議員** 学校運営委員会の構成員は。
- 教育長** 組織・目的等を精査するとともに、近隣市町村の現状を調査して10名程度にスリム化した。

建設水道課

- 議員** 村営住宅にて、近々にて大規模改修計画等はあるのか。
- 建設水道課長** 公営住宅等長寿命計画に従った形での、大規模な修繕等については、検討していない。

企画政策課関連

- 議員** まち・ひと・しごと創生事業費の棚田景観保全プロジェクト内の竹集落情報誌制作業務委託費での効果は。
- 企画政策課長** 棚田景観保全プロジェクトにて旅行関連情報誌掲載等については、オープン前の事前情報の効果を狙い作成した。

農林観光課

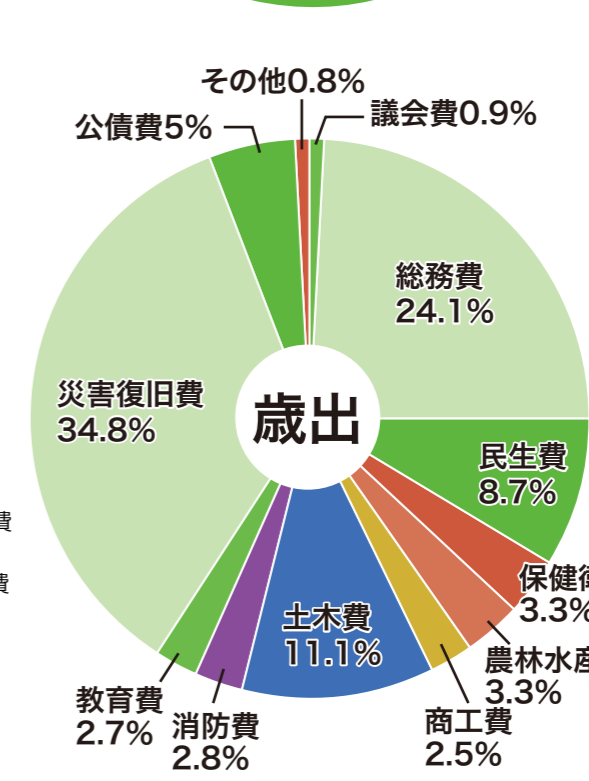
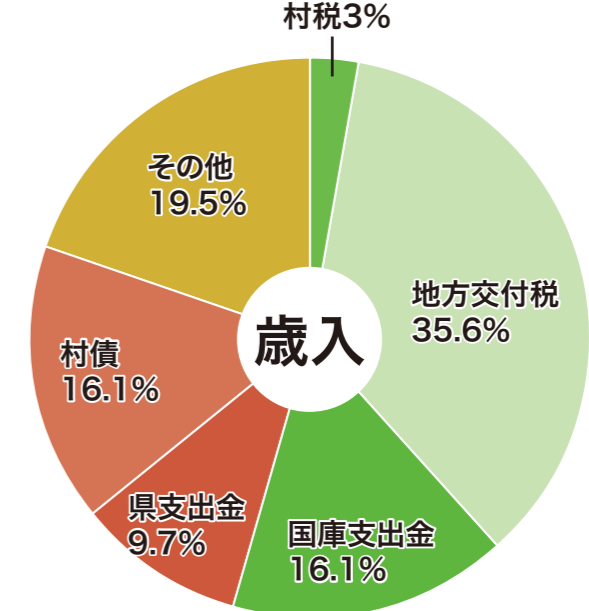
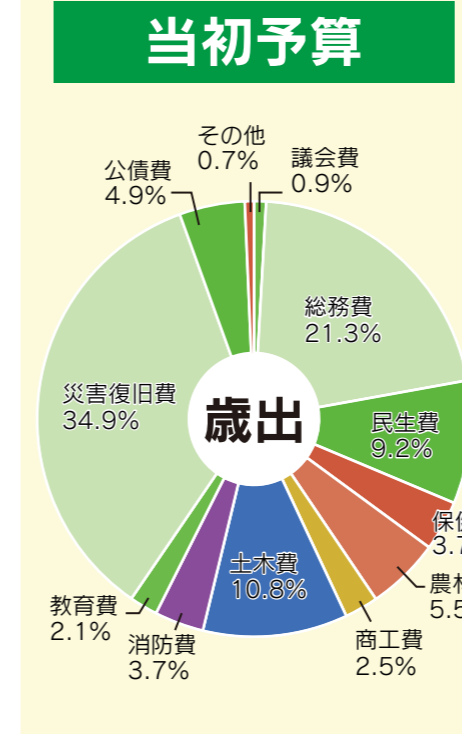
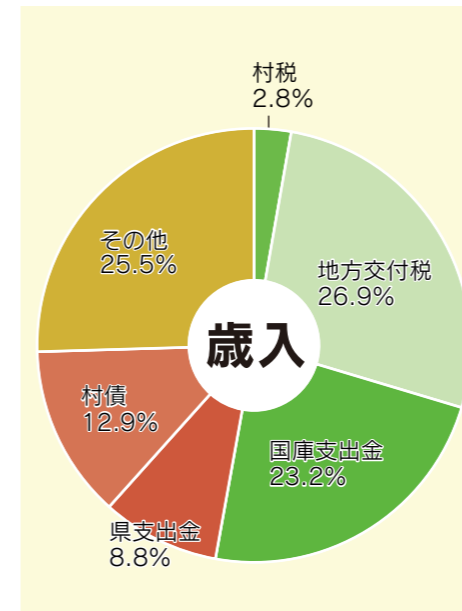
- 議員** 商工施設及び観光施設の管理費における、修繕費をどう捉えているのか。
- 村長** 施設が経年劣化する中ではあるが、村の施設を安全に運営していく為には、今のところ致し方ないと思う。

災害対策室

- 議員** 29年災害からの復旧状況は。
- 課長補佐** 被災地全体面積が23.5ha、施工済が12.3ha、施工中が3.9ha未施工が7.3ha。

保健福祉課

- 議員** インフルエンザの予防接種において、公民館等での集団接種は出来ないか。
- 課長補佐** 国が提唱している安全な接種としては、集団接種は推奨されていないので、個別接種で継続していきたい。



一般会計

歳入総額 52億5221万円
 歳出総額 50億3080万円
 (内 災害関連予算 17億5267万円)
 当初予算 52億7706万円

国民健康保険事業特別会計

歳入総額 3億5661万円
 歳出総額 3億5173万円
 当初予算 3億7145万円

簡易水道事業特別会計

歳入総額 1億1114万円
 歳出総額 1億1111万円
 当初予算 1億3020万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 3800万円
 歳出総額 3733万円
 当初予算 4121万円

ここが聞きたい!

一般質問

令和2年東峰村議会第8回(9月)定例会 一般質問

| 質問順 | 議員名 | 質疑事項(色付きは記載事項) |
|-----|-------|---------------------------------------------------|
| 1 | 長澤 貞義 | 人事について……………P5 |
| | | 教育について……………P5 |
| 2 | 伊藤 均 | 新型コロナウイルス感染症対策について……………P6 |
| | | 災害復旧工事について……………P6 |
| 3 | 梶原 伯夫 | 農地災害復旧について……………P7 |
| | | 地域交通について……………P7 |
| | | コロナウイルス対策について……………P8 |
| 4 | 大蔵 久徳 | コロナ関係について……………P8 |
| | | 災害復旧について 地域おこし協力隊について……………P8 |
| 5 | 梶原 光春 | 令和2年7月水害について……………P9 |
| | | 村道の維持管理について……………P9 |
| | | 高齢者の方々の施策について……………P9 |
| 6 | 高倉 寛視 | JR、BRT問題について……………P10 |
| | | 陶器組合、陶土の問題と秋の民陶祭について……………P10 |
| 7 | 高橋 弘展 | JR日田彦山線復旧について……………P11 |
| | | 村の広報について……………P11 |
| | | 宝珠山ふるさと村の経営について……………P11 「所得の向上」と「雇用(仕事)創出」について |

一般質問とは……

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。



長澤 貞義 議員

前教育長をなぜ再任しなかったのか

——村長 総合的に勘案しての判断である

議員 村民の方達から「佐々木教育長は次の任期も当然するのではなかったのか」と言う声を聞いているが、なぜ再任しなかったのか。

村長 教育長の人事については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律・第4条第1項の規定により、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命する事になっており、総合的に勘案して判断させていただいた。

議員 村長は教育委員会が任命した地域コーディネーターを外すよう指示したのに、前教育長が従わなかったため、再任しなかったのではないか。

村長 再度申し上げるが、任期満了に伴い総合的に勘案して判断させていただいたので、回答を控えさせていただきます。

議員 人事権は村長にあるが、佐々木前教育長はなんの落ち度もなかったと思う。村長の指示を前教育長が立場からはねつけた事については、前教育長はすばらしい教育者だと私は思うが村長はどう思っているのか。

村長 これはやはり人事上の問題であり、答弁は控えさせていただきます。

教育について

議員 村の子供たちの為に教育長として、どんな思いでやっていくのか、やりたい事があるのか伺いたい。

教育長 教育の目的は、将来自分一人で食べていける自立した人間をつくること。

そのために重要なことは、知力・徳育・体育の3つ、これは文科省が言う生きる力の育成となっている。

知は、自分で考える人間。徳は、道徳の徳だが豊かな人間性道徳心。体は、すこやかでたくましい心と体。この3つの生きる力をバランスよく育てていきたい。

そのためには、家庭教育を中核にししながら、学校、地域が一体となって、連携して育てていくことが大事である。



東峰学園



伊藤 均 議員

新型コロナウイルス感染症対策状況は

——村長 基本対策と、新生活様式の実践を広報

議員 新型コロナウイルス感染症が第2波を迎えている中で、感染症対策の現状は。

村長 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、国及び県からの情報を共有しながら、現在までに23回の会議を実施して村民の感染防止に務めている。

また、新型コロナウイルス臨時交付金事業で、非接触型体温計を全戸配布した。

議員 近隣市町村にて、感染者が多く発生している状況の中、本村において感染者が確認された時の対応は。

村長 感染者が発生した場合、県の保健所から保健福祉課長へ連絡が入り、村長・副村長・教育長と連絡を取り、緊急対策本部会議を開催し対応する。

また、村民への周知も必要となるので、プライバシーに配慮しながら防災無線等でお知らせをしたい。

消毒・濃厚接触者への聞き取りなどは、保健所の指導のもと、行われると聞いている。

議員 感染者が発生した場合の、プライバシー等の対応は万全か。

村長 具体的な対応については協議しているが、主導権は保健所にあるので、保健所の指導のもと消毒等の対応にあたる。

プライバシー等については、人権侵害等の可能性もあるので、事前に村民の方に注意喚起していく。



梶原 伯夫 議員

農地の復旧での苦情や問題は

——災害対策室長 表土や石の問題が苦情として来ている

議員 農地の復旧をしていく中で苦情や問題はないか。

災害対策室長 表土や石の問題が苦情として来ている。具体的には6件の相談があつている。

議員 農地において代替えの土がない、土砂流入の場合上の分しかとってもらえない等の苦情がある。工事終了後耕すこと等出来ないか。

災害対策室長 耕すことは難しい。地域外の業者は、農業の経験がない人たちが多いため現状で、表土に石があっても違和感がない者もいるが、拳大以上の石は撤去するよう指導している。今後は現場での指導を徹底する。



未復旧農地

議員 表土の問題の解決策を考えてほしい。

災害対策室長 査定の時の問題もあるが、表土部分の入れ替え等は、別途十分検討はするが、自力復旧の対象として考えていいのではないかという風に今探っている。もう少し制度の検討をさせたうえで回答したい。

議員 東峰学園における新型コロナウイルス感染症対策状況は。

教育長 家庭での体温・体調チェックし一覧表を学校へ持参させ確認、学校ではサーモグラフにて発熱確認。

発熱が確認された場合は、保健室にて再確認を実施、教室においては換気と消毒作業を実施。

また、教職員の前面・側面には、パーティションも設置している。

災害復旧工事について

議員 災害復旧工事終了後ににおける損傷個所の補修の基本的考え方は。

災害対策室長 工事に起因しての損傷については、状況を確認して、補修工事を実施している。

地域交通について

議員 村内の交通体系についての進捗状況は。

副村長 8月に県の交通政策課・九州運輸局の担当者等と、執行部も交えて勉強会をした。

九州運輸局から地域交通を実施する上での免許関係とか、制度等の説明。県の交通政策課からは、近隣の市町村等の事例紹介があった。

今後村の地域公共施設、公共交通協議会等の立ち上げも視野に入れて、検討を行う。

議員 日田彦山線はBRTに決定したが、村内には西鉄バス等の利用できない地区もある。通院・通学・いずみ館等と一緒に、地方創生市町村圏域会議等にも相談してほしい。

企画政策課長 県等と相談をしていきたい。

議員 工事での損傷が複数の業者であったり、村道又は、県道の場合はどうなるのか。

災害対策室長 工事に起因した損傷であれば、別途工事にて修復。

また、状況を踏まえて道路管理者と発注者が協議して対応する。

村長 最終的には、県単事業であれば県に相談。村単事業であれば村が復旧する。



工事で傷んだ村道

議員 村内はもちろんだが、近隣市町村とも考えてほしい。

村長 当然執行部側としても総務常任委員会と連携を取りながら、村民の皆さんの意見等も伺いながら決めたい。

差し迫った課題なのでいろいろな問題も含めながら、今後検討したい。





大蔵久徳 議員

役場職員のコロナ対策は —— 村長 分散型勤務を行った

議員 コロナの収束が見えない状況の中、働き方改革で、テレワーク、フレックス出勤等を取り入れる考えはあるか。

村長 分散型勤務、職員間の2メートル以上の確保等の検討を行ってきたが、ネット環境、内線不足等の問題も多く現在は通常勤務となっている。また在宅勤務(テレワーク)導入については、在宅勤務が出来る業務がなく、見送った。

議員 最悪、職員間でクラスターが発生し、2週間の隔離が行われる可能性もある。住民サービスを低下させないためにも、コロナ版BCP(業務継続計画)を作る考えはないか。
総務課長 緊急性があるもの、絶対仕事を継続しなければならぬもの、また、優先順位が低いもの、

そういった優先付けを各課で行った。実際に村内にコロナ感染者が発生した時や、増加した場合、また職員が感染した場合など、どの段階で業務を絞っていくかは考えている。ただ業務継続計画という形での計画策定までしていない状況。

議員 コロナ対応で自治体間の協力またノウハウの共有が行われているか。
村長 北筑後保健事務所とは毎日連絡を取っているが、自治体間では甘木朝倉三井環境施設組合、甘木朝倉三井環境施設組合当たりで情報交換するくらい。職員の感染については他自治体の首長に情報をお聞きして内容は把握している。



梶原光春 議員

本年7月の水害と今後の恒久的な対策は —— 建設水道課長 緊急自然災害防止対策事業で対応

議員 29年豪雨災害と比較して規模と件数の違いは。
災害対策室長 道路、河川については30か所、農地・農業施設は37か所、林道は14か所で29年災害の約2割になる。対応については従前と変わらない。

建設水道課長 緊急自然災害防止対策事業債を活用して、復旧工事に着手する。

村道の維持管理について

議員 環境美化の一環として、年2回の除草や伐採を行っているが、村民の方が高齢になり、高い法面や危険な場所での作業が無理になって来ている。業者に依頼したり、高所作業車費用等の助成は出来ないか。
建設水道課長 村道は全体で97kmあるので全てを村単独事業での除草は難しいので、できる範囲でお願いしたい。除草剤等は道路、河川愛護の時に配布している。

議員 危険個所の支障木伐採を、業者等へ依頼する検討はできないか。

地域おこし協力隊について

議員 地域おこし協力隊として多く採用されたが、これまでの成果は。
村長 27年より現在まで22名採用している。地域おこし協力隊の熱意や行動が地元を刺激を与えている。また、わが村の住民が増える事で、住民税・交付税等の成果があると思う。

議員 地域おこし協力隊の定住率が全国平均6割、福岡県では7割を超えている。本村における定住率の低さの要因は何か。
村長 隊員の考えと違ったり、様々な事情があると思う。

議員 地域おこし協力隊の定住率が全国平均6割、福岡県では7割を超えている。本村における定住率の低さの要因は何か。
村長 隊員の考えと違ったり、様々な事情があると思う。

村長 言う事はひしひしとわかるが、村道や県道を管理して行くうえで、機械を購入しただけでは、解決するとは思っていない。業者への依頼や労務班の増強等を検討する。

高齢者対策について

議員 免許を持たない方や高齢者の方が、ゴミ出しやリサイクル品の搬出に非常に困っている。年に数回でいいから玄関先までの回収はできないか。
村長 言われることは、重々承知している。まず民生委員や集落支援員にご相談下さい。

結論的にこの場でどうしますとは言えないが、方策については、もう少し時間をいただきました。



ゴミ集積場



高い法面の村道



コロナ対策パーテーション



高倉 寛規 議員

BRT報告会村民の反応は

— 村長 BRTでも良いとの意見も

議員 鉄道での復旧を願ひ、頑張ってきたが、結果としてBRTになったことに関して、復旧報告会での村民の方々の反応はいかがだったのか。

村長 鉄道での復旧を望んでいた、村民の方々の落胆の思いを感じたし、JR提案のBRTでも良かったのではないかとの意見も出た。

議員 鉄道での復旧を求めて、中心になって活動をされてきた方たちとの話は個別にしたのか、それとも報告会で話は片づいたのか。

村長 鉄道での復旧を求めるメンバー全員ではないが、代表者の方には話はした。



JR仕様のBRTバス

陶土の問題について

議員 陶器組合の方には、陶土の不足を心配されている方もおられるようだが、村長はいつごろからご存じだったのか。

村長 4、5年前から聞いていた。



陶土製成工場

議員 4、5年前から知っていたのであれば、今頃は新しい陶土が出るところを、作っておくべきではなかったのではないかとその間どのように考えてどのようになされたのか。

村長 陶器組合長に聞いたところ、まだ15年分くらいは大丈夫だと言っている。いずれ、陶土不足は生じてくると思うので、その対策には取り組んでいかなければならないと考えている。

議員 陶土が15年持てばいいが、実際どれだけ持つか解らない。次の工場を作るべく、早急この問題は解決していくべきではないか。

秋の民陶祭について

議員 コロナの影響で、春の民陶祭が中止になり、陶器関連でお仕事されている方達は、非常に大きな影響を受けているが、秋の民陶祭はどのようになるのか。

村長 春の民陶祭に引き続き、秋の民陶祭も中止する決定がなされたとの報告を受けている。

窯元の方への影響は非常に大きいと考える。春の民陶祭と同様に可能な限り支援していく。



高橋 弘展 議員

日田彦山線の復旧はいつになるのか

— 村長 令和5年辺りになると想定

議員 住民説明会で村長は「二次交通は村が責任を持って整備する」と発言されていたが、どういうことか。

村長 BRTまでや西鉄バスとアクセスについては、コミュニティバス等の何らかの形で村民の交通手段を考えなければならぬ。どんどん高齢化している村において村民の交通手段を

考えることは、村が責任を持ってやらなければならない。

議員 総務常任委員会の勉強会で県の発言では、「コミュニティバスは赤字を覚悟してください」との説明が印象に残っている。多くの住民の方も住民説明会でJRが提示したBRT案(筑前岩屋駅〜宝珠山駅まで下道を

走るルート)を選択しておけば、解決策になったのではないかと発言されたと思う。知事がこの案を持って来られたのであれば、地域交通もセットで県に協力を仰がなければならないのでは。

村長 東峰村は小石原地区もあるので、住民の皆さんの移動手段を考えなければならぬ。仮にお金がかかったとしても、村でやらなければならないと考えている。議員の皆さんに予算等をお願いすることとなるが、村としてはそういう覚悟で今後は望んでいきたい。

議員 住民との意見交換はどのような形で行われるのか。

村長 当然、ある程度の方向性が出たら打ち合わせをしていく。村が単独でこうだというような決め方はしない。

議員 地域の人たちも「これなら乗るよ」「私たちも応援していくよ」という形を作らなければ今後の地域交通は成り立たない。早い段階で聞き取りや意見交換を行うべきでは。

村長 みんなが大賛成ということはある。多くの方が、「まあ、いいだろう」と言えるような、便利になったと喜ばれる地域交通を考えていく。

宝珠山ふるさと村の

住宅問題について

議員 伊藤ちずる氏と解決されたのか。

村長 現在係争中につき、この場において発言を控えさせていただきます。

議員 自治体の長が、住民を訴えることは全国を見てもない。なぜ村長という立場ながら一住民を裁判で訴えるのか。

村長 今係争中の案件について、その中で明らかになっていく。



JR地区報告会

第7回臨時会(8月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分 | 審議結果 | 議案一覧 | 伊藤均 | 泉守 | 大蔵久徳 | 高倉寛視 | 長澤貞義 | 高橋弘展 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 梶原伯夫 |
|------|------|---------------------------------------|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 条例 | 可決 | 東峰村新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

第8回定例会(9月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分 | 審議結果 | 議案一覧 | 伊藤均 | 泉守 | 大蔵久徳 | 高倉寛視 | 長澤貞義 | 高橋弘展 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 梶原伯夫 |
|------|------|---------------------------------------------------------|-----------------|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 条例 | 可決 | 東峰村立診療所条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 決算 | 可決 | 令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 認定 | 令和元年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 認定 | 令和元年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 認定 | 令和元年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議 | 可決 | 令和元年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 可決 | 「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」の提出について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願 | 可決 | 「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」にかかわる意見書の提出を求める請願書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 可決 | 「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 報告 | 令和元年度株式会社宝珠山ふるさと村決算状況報告 | 報告議案のため採決は行いません | | | | | | | | |

決算審査特別委員会議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分 | 審議結果 | 議案一覧 | 伊藤均 | 泉守 | 大蔵久徳 | 高倉寛視 | 長澤貞義 | 高橋弘展 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 梶原伯夫 |
|----|------|-----------------------------------|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 決算 | 認定 | 令和元年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 認定 | 令和元年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 認定 | 令和元年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 認定 | 令和元年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

編集後記

晩秋の彩り著わすにはいささか早く、さりとて白き冬と著わすには山々は赤や黄色の衣をまとい、あざやかな錦秋の日々。

新しいウイルスが人間の頭上に、拡散し始めて早一年になろうとしている。桜の花咲く来年の春には、ワクチン接種が可能となる日が訪れるだろうと期待されている。

間もなく今年も暮れようとしているが、来年こそ平穏な年になるようお願い、ペンを置く。

(梶原光春)

| | |
|-------|-------|
| 議長 | 佐々木紀嘉 |
| 発行責任者 | 梶原伯夫 |
| 委員 | 梶原光春 |
| 副委員長 | 泉守 |
| 委員 | 黒川隆康 |
| 委員 | 伊藤均 |
| 議長 | 梶原伯夫 |